

令和4年度政策調査事業助成金制度  
調査課題個票

調査課題1	在宅療養を支える精神科看護外来についての実態調査
助成金額	50万円を上限とする。
事業内容	精神科医療機関で取り組まれている精神科看護外来について、どのような看護支援がなされているのか等の実態を把握することで、今後の外来機能のあり方を検討する上での材料とする。
指定課題を設定する背景・目的	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域生活の支援の充実は最重要課題の1つである。その中でも外来は、入院医療と地域医療を繋ぐ大切な機能として注目されている。今後は精神科外来で行われる看護援助の充実、効率化をはかり、多職種で切れ目のない支援を行うことが求められる。 そこで精神科医療機関において先駆的に精神科看護外来を開設している施設の活動内容を調査し、実態を把握することを目的とする。
想定される事業の手法・内容	医療関係者等を構成員とするワーキング・グループを設置し、調査票の設計や調査結果の集計、分析、検証を行う。その際、併せてヒアリング調査等により、現場の実態を詳細に把握することも検討する。
求める成果物の活用方法	精神科医療機関においての看護外来ではどのような取り組みがなされているのかを調査することによって、今後の精神科外来の方向性を見出すための資料として活用する。
担当部署/担当者	日本精神科看護協会 看護政策部長

令和4年度政策調査事業助成金制度  
調査課題個票

調査課題2	認知症治療病棟に関する実態調査
助成金額	50万円を上限とする。
事業内容	認知症治療病棟において提供される看護の質の向上を目指すために、実態調査、現状分析、課題の整理を行って、今後の施策への反映検討に資する基礎資料を作成する。
指定課題を設定する背景・目的	<p>認知症治療病棟については、今後の高齢者の増加が見込まれる中で、限られた医療資源を有効活用し、より効果的な入院医療を提供できるよう支援のあり方の検討が求められている。しかし、実際の現場では看護人員の手薄さや提供する看護サービス量の多さなどの様々な要因により十分な看護援助を実施できないといった状況が起きている。</p> <p>本調査研究では、認知症治療病棟の実態を調査・分析し、課題を整理するとともに、施策への反映に係る検討に資する基礎資料作成を目的とする。</p>
想定される事業の手法・内容	医療関係者等を構成員とするワーキング・グループを設置し、調査票の設計や調査結果の集計、分析、検証を行う。その際、併せてヒアリング調査等により、現場の実態を詳細に把握することも検討する。
求める成果物の活用方法	本調査結果を踏まえ、より効果的な入院医療を提供できるための支援のあり方を検討し、今後の施策・制度の見直しに反映するための基礎資料として活用する。
担当部署/担当者	日本精神科看護協会 看護政策部長